

山口県支部

山口県内信用金庫の地域密着型金融推進計画への取り組み状況

山口県支部では、山口県内の8信用金庫全てと業務提携を行った。その際、感じたのは、信用金庫の、取引先の経営革新や再生に関するニーズは高いものの、経験やノウハウに限界があるということである。この機会に信用金庫の経営実態に迫ろうと考え、今回の調査研究活動を行った。

第1章 地域密着型金融推進計画とは

リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラムについて、旧アクションプログラム策定の経緯、旧アクションプログラムの実績と評価、新アクションプログラムの策定について紹介した。また、新アクションプログラムにおける各金融機関への要請内容として、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域の利用者の利便性向上の内容を紹介した。

第2章 各信用金庫のアクションプログラムの概要と取り組み状況

今回の各信用金庫へのヒアリング調査は、信用金庫の地域密着型金融推進計画への取り組み状況を調査・研究することで、そのニーズと課題を探ることを目的とした。調査方法は、会員診断士の直接訪問によるヒアリング調査。調査対象は、本部（各信用金庫の業務部、審査部等、アクションプログラム推進の中心部門）とした。

第3章 支店の取り組み状況と課題

実際に営業を行う支店のニーズと課題を探り、中小企業診断士が果たしうる役割について考察することを目的とし、営業部長、支店長を対象とするヒアリング調査を行った。

第4章 考察

1．事業再生・中小企業金融の円滑化に関する取り組み

今回のヒアリング調査を通じて、各信用金庫の「事業再生・中小企業金融の円滑化」に関する積極的な取り組み姿勢は十分に理解できた。本部と営業店との取り組み状況の違い、課題も明確となった。しかし、信用金庫としては、大手金融機関との競争を生き残るためには、より地域密着であるという強みを活かした展開が絶対不可欠の条件であろう。

2．経営力強化に関する取り組み

信用金庫の「経営力の強化」に対する取り組みについて、リスク管理、収益管理、ガバナンス、コンプライアンス、ITについてインタビューを行った。これらは経営力の強化

にとって重要な項目であるため、各信用金庫においてそれぞれの対応策を聞くことができた。しかし特徴的なものは見当たらず、従来から行われているものの延長に過ぎなかった。むしろ経営力強化の本質は、地域事業者の経営力の強化にあるといってもよい。再生支援であれ、経営革新支援であれ中小企業者の問題解決を支援することで中小企業者の経営向上に貢献し、ひいては自金庫の経営力の向上を実現することができるのではないだろうか。

地域再生の鍵は、地域の中小零細企業の活性化にかかっている。その地域の中小零細企業を金融面で支えているのが信用金庫である。我々中小企業診断士としては、地域中小企業の経営支援に研鑽を努めるとともに、信用金庫の協力要請には積極的に応えて行きたいと考えている。